

1 めざす子どもの姿

「家族に見守られながら、家で勉強する」という基本的な学習習慣を身につけていきましょう。

学習時間のめやす

30分

2 学習を支える基盤

(1) 『早寝、早起き、朝ご飯』の徹底

家庭学習の習慣をつけるには、まず『基本的な生活習慣』を身につけることが大切です。早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかりと食べ、生活のリズムを整えていきたいものです。

また、家のお手伝いや学習の準備をする態度をつけていき、自ら学ぶ意欲を育てていただきたいと思います。



(2) この頃の「育ち」の理解

この時期の子どもは、身のまわりの大人の行為をまねて、様々なことに興味・関心をもち、何でも自分やっつけようとするものです。

一方で、この頃に一人で学習の内容や方法をきめることは、まだ無理があります。家族で手助けしながら、できたことを「よくできたね!」「やったね!」と笑顔でほめていきましょう。あわせて、わが子に適した内容や方法、手順など“学習のすすめ方”はどうか、夫婦間や家族間でよく見守り、話し合っています。身のまわりの温かい後押しとほめことばが、自己の存在を肯定的に認め、意欲と自信を生む力となります。

(3) ご家庭で大切にしたいこと

①あたたかい家庭の雰囲気

小学校1・2年生は「時間」の概念が身につけていません。そこで、家庭学習では、家族の手助けが必要です。一人で勉強するよりも、親の姿が視界に入り、ことばを交わしあえる“場所”で学習するとよいでしょう。宿題の分からないところをすぐに相談できますし、親にとっても子どもの様子がわかり、ほめやすくなります。

この“いつでも会話できる環境”が、親に見守られているという温かい雰囲気を感ず、学ぶ習慣を身につける土台となっていきます。

②まずは、大人の学ぶ姿から

子どもは、親の姿をよく見ています。まずは、大人がお手本となる“学ぶ”姿勢を、積極的に、意図的に、気長に見せていきましょう。そのためにも、親自身が関心を寄せる内容や静かに学ぶ時間、場所をもつ必要があります。

また、家族ぐるみでよりよい学習環境づくりに努めましょう。手の届くところに本を置いたり、読み聞かせをしたりして読書環境を整えることも大切です。この時期に、読書の習慣を身につけさせたいものです。

③家族も一緒に、粘り強く

「宿題を最後までやる」を共に達成し、最後までやれたかを複数の目で点検してあげましょう。また、互いが何に関心をもっているか会話したり、テレビやゲームの時間を約束して守ったり、家族も粘り強く働きかけましょう。



3 家庭学習のポイント

(1) 家庭学習をする前にすること・・・学習する環境を整えてあげてください。

- ・学習する前に、身のまわりの整理・整頓を少しずつ自らできるようにしていきましょう。
- ・「ひじをつかない」「腰骨をのぼす」など、正しい姿勢で学習することを意識させていきましょう。
- ・正しい鉛筆の持ち方に、注意させましょう。



(2) 家庭学習は、まず宿題をきちんとすること・・・こんなことに気をつけて！

- ・今日にやる宿題の内容と量を、親と一緒に確かめましょう。
- ・宿題の学習を終える時間を、親子で決めて目標を持たせましょう。
- ・問題を解く速さにとらわれずに、まず学習を楽しむことを大切にしましょう。
- ・間違えた問題はもう一度やりなおす習慣を、地道に身につけさせていきたい。
- ・宿題が終わったら、生き物の観察やパズルの図形遊びなどにも挑戦したい。

(3) 最終的に、1学年で身につけたい力・・・習慣づけの1年生

- ・鉛筆をただしくもって、字が書ける。
- ・ひらがな、カタカナの清書をふつうに読める。
- ・助詞「て、に、を、は」を使いわけて、文章を書く。
- ・配当漢字のすべてを読めて、8割以上の漢字が書ける。
- ・たし算やひき算が正しく正確にできる。
- ・「あのね」帳に、先生に聞いてほしいことを書ける。



(4) 最終的に、2学年で身につけたい力・・・習慣を定着させる2学年

- ・配当漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ・自分の伝えたいことを、順序よく話することができる。
- ・九九をすらすらと言える。たし算、ひき算が速くできる。
- ・筆算の式を、定規を使って書き、ただしく計算ができる。
- ・きめられた長さの直線を、ほぼ正確に引くことができる。
- ・時計（アナログ）を見て、何時何分か、読むことができる。
- ・「作文帳」や「連絡帳」に、今日のできごとを毎日書ける。



この時期の子どもは、“遊びと学習”とをはっきりと区分できていません。しかし、子どもの『学ぶ力』は、遊びについては“生きていくたくましさ”をはぐくみ、学習については“生涯に渡る生きる姿勢”をつくるといわれます。この時期に、家庭学習の基本が身につくとつかないのでは、その子にとって、その後の『学ぶ力』に大きな影響があることは、言うまでもありません。

その意味でも、「早寝・早起きをする」「朝ご飯をしっかりと食べる」「あいさつをする」などの基本的な生活習慣の確立としつけが大切です。

この時期だからこそ、子どもと家族が一緒になって、生活と学習の習慣づけを図りましょう。